

53. 久田和1号墳^{く だ わ 1 ごうふん}

■ 指定日

昭和53年10月19日

■ 種別

史跡

■ 年代

古墳時代後期

■ 所在地

朝来市久田和

■ 所有者

個人



■ 内容

南から北へ、緩やかに延びる段丘上の肥沃な東河平野を一望できる位置にある。現在、覆土がほとんど取り去られ、横穴式石室が露出しているが、大型の円墳であったと考えられる。東面する入口はふさがり、玄室最奥部の壁石はずり落ちている。

石室全長7.8m、2枚ある玄室天井石のうち、大きい方は長さ3.5m、幅2.3m、厚さ0.9mを測る。出土品は一切不明だが、石室の形態から築造は6世紀末頃と推定される。